



2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月1日

上場会社名 山崎製パン株式会社
 コード番号 2212 URL <https://www.yamazakipan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯島 延浩
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 会田 正久
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

上場取引所 東
 TEL 03-3864-3110

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	563,944	6.8	20,610	43.3	22,756	33.0	14,055	55.8
2022年12月期第2四半期	528,252	—	14,381	17.7	17,111	24.4	9,023	24.7

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 18,770百万円 (45.5%) 2022年12月期第2四半期 12,897百万円 (23.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	67.99	—
2022年12月期第2四半期	43.00	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号、2020年3月31日)等を2022年12月期の期首から適用しております。
 このため、当該基準を適用する前の2021年12月期第2四半期連結累計期間の売上高に対する対前年同四半期増減率は記載しておりません。
 なお、2021年12月期第2四半期連結累計期間と同様の基準で算出した2022年12月期第2四半期連結累計期間の売上高の増減率は7.1%増であります。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	746,262	—	417,195	—	—	50.0
2022年12月期	758,031	—	407,897	—	—	48.0

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 372,960百万円 2022年12月期 363,738百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	—	—	22.00	22.00
2023年12月期	—	—	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,133,000	5.2	34,000	54.3	38,000	45.4	20,000	61.7	96.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期2Q	220,282,860 株	2022年12月期	220,282,860 株
② 期末自己株式数	2023年12月期2Q	14,328,269 株	2022年12月期	11,647,754 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期2Q	206,720,524 株	2022年12月期2Q	209,835,320 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、第2四半期決算短信補足説明資料の6ページにセグメント別の売上高及び営業利益の予想を記載しております。

当社は、2023年8月4日(金)に機関投資家及び証券アナリスト向け四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結損益計算書関係)	11
(セグメント情報等)	12
3. 補足情報	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年1月1日~2023年6月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルスについて行動制限が緩和され、5類感染症に変更されたことにより経済活動の正常化が進み、外食や旅行などの回復により個人消費が持ち直すとともに、インバウンド需要も回復してまいりました。

当業界におきましては、物価の上昇が続き、お客様の節約志向や低価格志向が一段と強まる中で販売競争が激化するとともに、主原料の小麦粉や油脂、卵など原材料価格の上昇に加え、エネルギーコストの増加もあり厳しい経営環境となりました。また、コンビニエンスストアやフレッシュベーカーリーの小売事業につきましては、人流の回復に伴い、おにぎりやサンドイッチ、焼き立てパンなどの需要が回復してまいりましたが、光熱費などの店舗コストが増加する厳しい経営環境となりました。

このような情勢下にあります、当社グループは、「いのちの道」の教えに従い、すべての仕事を種蒔きの仕事から開始する営業・生産が一体となった部門別製品施策・営業戦略、小委員会による「なぜなぜ改善」を推進し、主力製品の品質向上をはかるとともに、2極化・3極化戦略によって低価格帯製品や値頃感のある製品の品揃えを充実し、女性製品開発担当者による高付加価値製品の開発に取り組むなど、変化するお客様のニーズに対応した隙のない製品対応を推進し、新しい価値と新しい需要の創造に取り組んでまいりました。また、本年3月31日付で、㈱神戸屋から包装パン事業の子会社㈱YKベーキングカンパニーの発行済株式全部を譲り受け、新経営体制の下でヤマザキの技術を最大限活用した製品の品質改善に取り組みました。

デイリーヤマザキやヴィ・ド・フランスなど小売事業につきましては、小売事業業績改善プロジェクトにより日次管理・週次管理の経営手法を徹底し、日々の仕事の精度向上につとめるとともに、小売事業本部内の戦略製品・戦略商品開発推進チームと連携し、ヤマザキの技術を最大限活用した、競争力のある商品開発を推進するなど業績回復をめざしました。

また、新型コロナウイルスの感染対策が事業者等の判断に委ねられる中で、当社グループは、緊急事態においてパン、和菓子、洋菓子類を緊急食糧として社会に提供するという新しいヤマザキの精神に従い、製品の安定供給を確保するため、全従業員に対して検温を実施し、37.2℃以上の発熱がある者、また発熱がない場合でも新型コロナウイルス独特の自覚症状がある者を自宅待機とし、この自宅待機者数とPCR検査陽性者数を日々管理しました。また、マスクの着用や手指の消毒など日常の感染防止対策を徹底し、従業員5人以上の会食の原則禁止や感染の恐れの高い遊興施設の利用禁止など、公衆衛生上の遵守事項を徹底するとともに、職場の感染防止対策として、炭酸ガス濃度測定器によって、常時職場内の換気をしながら炭酸ガス濃度を700ppm以下に保つなど、社会的使命の達成に全力を挙げて取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は5,639億44百万円(対前年同期比106.8%)、営業利益は206億10百万円(対前年同期比143.3%)、経常利益は227億56百万円(対前年同期比133.0%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は140億55百万円(対前年同期比155.8%)となり、山崎製パン単体の食パンや菓子パンが好調に推移したことに加え、連結子会社の業績が改善したこともあり、増収増益となりました。

セグメント別の状況

<食品事業>

食品事業の主要製品別の売上状況は次のとおりであります。

①食パン部門(売上高534億63百万円、対前年同期比103.4%)

食パンは、主力の「ロイヤルブレッド」が好調に推移するとともに、「モーニングスター」や「スイートブレッド」などの低価格帯食パンが大きく伸長しました。さらに、食べきりサイズのハーフサイズ食パンの伸長やサンドイッチ用食パンの回復もあり、前年同期の売上を上回りました。

②菓子パン部門（売上高 2,041 億 68 百万円、対前年同期比 109.1%）

菓子パンは、「コッペパン」や「まるごとソーセージ」、ヤマザキ菓子パンなど主力菓子パンが大きく伸長し、薄皮シリーズなどのミニパンが好調に推移するとともに、新製品の「生ドーナツ」シリーズの寄与に加え低価格帯の「ドーナツステーション」の伸長もありドーナツが大きく伸長するなど、前年同期の売上を大きく上回りました。

③和菓子部門（売上高 350 億 93 百万円、対前年同期比 102.8%）

和菓子は、主力の串団子や大福が伸長するとともに、ホットケーキが好調に推移し、チルド製品の「クリームたっぷり生どら焼」の伸長や和洋折衷の新製品「やわらか生大福」が寄与するなど、前年同期の売上を上回りました。

④洋菓子部門（売上高 752 億 74 百万円、対前年同期比 104.9%）

洋菓子は、主力の 2 個入り生ケーキや「プレミアムスイーツ」が好調に推移するとともに、コンビニエンスストアチェーン対応製品が伸長し、前年同期の売上を上回りました。

⑤調理パン・米飯類部門（売上高 742 億 8 百万円、対前年同期比 106.4%）

調理パン・米飯類は、おにぎりが伸長するとともに、サンドイッチや調理麺が好調に推移し、前年同期の売上を上回りました。

⑥製菓・米菓・その他商品類部門（売上高 828 億 4 百万円、対前年同期比 106.8%）

製菓・米菓・その他商品類は、(株)東ハトの「ポテコ」が伸長するとともに、ヤマザキビスケット(株)の「チップスター」の売上が回復し、(株)不二家の「ホームパイ チョコだらけ」が好調に推移するなど、前年同期の売上を上回りました。

以上の結果、食品事業の売上高は5,250億13百万円（対前年同期比106.7%）、営業利益は201億70百万円（対前年同期比137.1%）となりました。

＜流通事業＞

デイリーヤマザキのコンビニエンスストア事業につきましては、戦略製品・戦略商品開発推進チームと連携し、「ランチパック 大盛り」シリーズやデイリーホット商品など、ヤマザキの技術を最大限活用した競争力のある商品開発を推進し、お客様に喜ばれるヤマザキ独自のコンビニエンスストアチェーンをめざしました。また、松戸・杉並ドミナントプロジェクトによりデイリーホットを中心に収益改善に取り組むとともに、既存店舗の改装を推進し、ヤマザキらしいお店づくりと個店毎の売上・収益の向上に取り組みました。当第 2 四半期は、チェーン全店売上高は前年同期を上回るとともに、営業総収入は直営店舗数の増加もあり増収となりました。

以上の結果、流通事業の売上高は 322 億円（対前年同期比 107.4%）、営業損失は 11 億 65 百万円（前年同期は 18 億 4 百万円の営業損失）となりました。

＜その他事業＞

その他事業につきましては、売上高は 67 億 30 百万円（対前年同期比 106.8%）、営業利益は 13 億 21 百万円（対前年同期比 110.6%）となりました。

(2)財政状態に関する説明

当第 2 四半期連結会計期間末の資産合計は 7,462 億 62 百万円で、前連結会計年度末に対して 117 億 68 百万円減少しました。流動資産は 2,729 億 2 百万円で、売掛金の減少等により、前連結会計年度末に対して 184 億 19 百万円減少しました。固定資産は 4,733 億 60 百万円で、投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末に対して 66 億 50 百万円増加しました。負債合計は 3,290 億 67 百万円で、支払手形及び買掛金等の支払債務の減少や借入金の返済により、前連結会計年度末に対して 210 億 66 百万円減少しました。純資産は 4,171 億 95 百万円で、自己株式の取得による減少はありましたが、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に対して 92 億 97 百万円増加しました。

この結果、自己資本比率は 50.0%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益 220 億 28 百万円に加え、減価償却費 190 億 53 百万円などにより 521 億 35 百万円のプラスとなりました。前年同期に対しては 35 億 16 百万円収入が増加しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出などにより 290 億 23 百万円のマイナスとなり、前年同期に対しては 77 億 17 百万円支出が増加しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済、自己株式の取得、配当金の支払などにより 151 億 18 百万円のマイナスとなりましたが、前年同期に対しては 66 億 62 百万円支出が減少しました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は1,274億12百万円となり、前連結会計年度末残高に対しては78億52百万円の増加となりました。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しといたしましては、わが国経済は、新型コロナウイルス禍からの回復が進み個人消費の持ち直しが続くことが期待されますが、物価上昇によりお客様の節約志向が一層強まり、販売競争が厳しさを増す中で、主原料の小麦粉や卵、油脂などの原材料価格の高止まりが予測され、厳しい経営環境になるものと思われまます。

このような状況下にありまして、当社は、主原料の小麦粉を中心とした原材料価格の上昇に対しましては、本年7月1日出荷分から、一部の食パン、菓子パンの価格改定を実施しましたが、これに合わせて、2極化・3極化戦略によりお客様のニーズに対応した低価格帯製品や値頃感のある製品など下支え製品を投入したこともあり、業績は順調に推移しております。

当社グループは、引き続き「いのちの道」の教えに従い、すべての仕事を種蒔きの仕事から開始する営業・生産が一体となった部門別製品施策・営業戦略、小委員会による「なぜなぜ改善」を推進し、2極化・3極化戦略によってお客様のニーズに対応した隙のない製品対応をはかり、新しい価値と新しい需要の創造をめざし努力してまいります。なお、2023年2月14日付にて公表した通期の連結業績予想を修正いたしました。業績予想の修正の詳細につきましては、本日公表いたしました「2023年12月期第2四半期累計期間における業績予想値と実績値との差異および通期業績予想の修正ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	125,184	133,252
受取手形	184	162
売掛金	123,520	95,955
商品及び製品	13,254	13,918
仕掛品	922	952
原材料及び貯蔵品	13,952	13,844
その他	14,690	15,171
貸倒引当金	△388	△354
流動資産合計	291,321	272,902
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	416,940	418,538
減価償却累計額	△304,580	△307,320
建物及び構築物 (純額)	112,360	111,217
機械装置及び運搬具	557,718	560,213
減価償却累計額	△469,382	△475,786
機械装置及び運搬具 (純額)	88,336	84,427
工具、器具及び備品	40,826	41,202
減価償却累計額	△33,197	△33,684
工具、器具及び備品 (純額)	7,628	7,517
土地	114,813	114,972
リース資産	19,872	19,217
減価償却累計額	△12,933	△12,787
リース資産 (純額)	6,939	6,430
建設仮勘定	2,307	2,320
有形固定資産合計	332,385	326,884
無形固定資産		
のれん	10,518	9,269
その他	12,847	12,827
無形固定資産合計	23,365	22,097
投資その他の資産		
投資有価証券	65,876	81,641
長期貸付金	812	2,778
退職給付に係る資産	490	476
繰延税金資産	16,129	12,934
その他	29,866	28,666
貸倒引当金	△2,217	△2,118
投資その他の資産合計	110,958	124,378
固定資産合計	466,709	473,360
資産合計	758,031	746,262

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	83,496	77,655
短期借入金	55,795	55,690
リース債務	3,159	2,870
未払法人税等	6,273	8,977
未払費用	39,079	36,044
賞与引当金	5,186	5,002
店舗閉鎖損失引当金	47	47
資産除去債務	29	28
その他	44,272	35,975
流動負債合計	237,341	222,293
固定負債		
長期借入金	22,779	19,016
リース債務	4,476	4,045
役員退職慰労引当金	4,795	4,918
債務保証損失引当金	33	33
退職給付に係る負債	68,598	66,909
資産除去債務	4,977	4,880
その他	7,131	6,970
固定負債合計	112,791	106,773
負債合計	350,133	329,067
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,014	11,014
資本剰余金	9,632	9,632
利益剰余金	317,816	327,276
自己株式	△21,891	△26,185
株主資本合計	316,572	321,738
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,838	33,845
繰延ヘッジ損益	△14	0
土地再評価差額金	99	99
為替換算調整勘定	5,635	3,827
退職給付に係る調整累計額	13,607	13,449
その他の包括利益累計額合計	47,166	51,222
非支配株主持分	44,158	44,234
純資産合計	407,897	417,195
負債純資産合計	758,031	746,262

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	528,252	563,944
売上原価	354,416	380,449
売上総利益	173,835	183,494
販売費及び一般管理費	159,454	162,884
営業利益	14,381	20,610
営業外収益		
受取利息	62	100
受取配当金	747	802
固定資産賃貸収入	496	492
持分法による投資利益	339	224
為替差益	1,143	668
雑収入	650	641
営業外収益合計	3,438	2,929
営業外費用		
支払利息	367	353
固定資産賃貸費用	163	153
災害による損失	1	126
雑損失	176	148
営業外費用合計	708	782
経常利益	17,111	22,756
特別利益		
固定資産売却益	52	61
関係会社株式売却益	—	76
助成金収入	※1 375	—
その他	13	83
特別利益合計	441	221
特別損失		
固定資産除売却損	658	471
減損損失	610	288
投資有価証券評価損	305	2
その他	182	186
特別損失合計	1,756	948
税金等調整前四半期純利益	15,796	22,028
法人税等	5,673	7,441
四半期純利益	10,122	14,587
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,099	532
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,023	14,055

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	10,122	14,587
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△793	6,070
為替換算調整勘定	2,529	△1,751
退職給付に係る調整額	1,047	△168
持分法適用会社に対する持分相当額	△9	31
その他の包括利益合計	2,775	4,182
四半期包括利益	12,897	18,770
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,690	18,110
非支配株主に係る四半期包括利益	2,207	659

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	15,796	22,028
減価償却費	18,919	19,053
減損損失	610	288
災害損失	1	126
のれん償却額	789	803
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△186	△129
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△230	△175
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	24	△1,903
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	366	123
受取利息及び受取配当金	△809	△902
持分法適用会社からの配当金の受取額	72	72
支払利息	367	353
為替差損益 (△は益)	△1,143	△668
助成金収入	△375	—
持分法による投資損益 (△は益)	△339	△224
固定資産除売却損益 (△は益)	606	409
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△76
投資有価証券評価損益 (△は益)	305	2
売上債権の増減額 (△は増加)	25,565	27,422
棚卸資産の増減額 (△は増加)	21	△755
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,974	△5,539
未払費用の増減額 (△は減少)	△7,052	△2,927
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△112	△564
その他	1,736	△643
小計	51,957	56,174
利息及び配当金の受取額	809	900
利息の支払額	△371	△345
法人税等の支払額	△4,246	△4,593
その他	470	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	48,619	52,135
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△648	△159
有形固定資産の取得による支出	△19,228	△18,643
有形固定資産の売却による収入	52	65
無形固定資産の取得による支出	△1,746	△1,420
投資有価証券の取得による支出	△16	△6,876
投資有価証券の売却による収入	—	109
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	448	—
貸付けによる支出	—	△2,000
貸付金の回収による収入	23	56
その他	△190	△154
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,306	△29,023

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△941	1,437
リース債務の返済による支出	△1,486	△1,845
長期借入れによる収入	1,484	900
長期借入金の返済による支出	△8,452	△6,179
自己株式の取得による支出	△7,073	△4,294
配当金の支払額	△4,667	△4,576
非支配株主への配当金の支払額	△643	△560
財務活動によるキャッシュ・フロー	△21,780	△15,118
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,083	△140
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	6,616	7,852
現金及び現金同等物の期首残高	133,495	119,559
現金及び現金同等物の四半期末残高	140,111	127,412

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年2月24日開催の取締役会決議に基づき、自己株式2,680,300株の取得を行っております。この結果等により、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が4,294百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が26,185百万円となっております。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 助成金収入

前第2四半期連結累計期間において、新型コロナウイルス感染症に伴う政府によるまん延防止等重点措置等や各自治体からの営業時間短縮要請に応じたフレッシュベーカリー等、海外を含む小売事業において営業時間の短縮等を実施いたしました。

当該営業時間短縮等による協力金等は、「助成金収入」として特別利益に計上しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年1月1日至2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	食品事業	流通事業	その他 事業	計		
売上高						
食パン	51,692	—	—	51,692	—	51,692
菓子パン	187,083	—	—	187,083	—	187,083
和菓子	34,138	—	—	34,138	—	34,138
洋菓子	71,751	—	—	71,751	—	71,751
調理パン・米飯類	69,753	—	—	69,753	—	69,753
製菓・米菓・その他商品類	77,533	—	—	77,533	—	77,533
その他	—	29,995	6,212	36,207	—	36,207
顧客との契約から生じる収益	491,953	29,995	6,212	528,161	—	528,161
その他の収益	—	—	90	90	—	90
外部顧客への売上高	491,953	29,995	6,303	528,252	—	528,252
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,493	4,982	18,305	27,780	△27,780	—
計	496,446	34,977	24,608	556,032	△27,780	528,252
セグメント利益又は損失(△)	14,712	△1,804	1,195	14,103	277	14,381

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額277百万円は、セグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年1月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	食品事業	流通事業	その他 事業	計		
売上高						
食パン	53,463	—	—	53,463	—	53,463
菓子パン	204,168	—	—	204,168	—	204,168
和菓子	35,093	—	—	35,093	—	35,093
洋菓子	75,274	—	—	75,274	—	75,274
調理パン・米飯類	74,208	—	—	74,208	—	74,208
製菓・米菓・その他商品類	82,804	—	—	82,804	—	82,804
その他	—	32,200	6,639	38,840	—	38,840
顧客との契約から生じる収益	525,013	32,200	6,639	563,853	—	563,853
その他の収益	—	—	90	90	—	90
外部顧客への売上高	525,013	32,200	6,730	563,944	—	563,944
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,775	4,597	19,025	29,398	△29,398	—
計	530,788	36,798	25,755	593,343	△29,398	563,944
セグメント利益又は損失(△)	20,170	△1,165	1,321	20,326	283	20,610

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額283百万円は、セグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 連結販売実績

(単位: 百万円)

セグメント名称	区 分	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)		比 較 増 減	
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	前年同期比
食品事業	食 パ ン	51,692	9.8%	53,463	9.5%	1,770	103.4%
	菓 子 パ ン	187,083	35.4	204,168	36.2	17,085	109.1
	和 菓 子	34,138	6.4	35,093	6.2	955	102.8
	洋 菓 子	71,751	13.6	75,274	13.3	3,522	104.9
	調理パン・米飯類	69,753	13.2	74,208	13.2	4,454	106.4
	製菓・米菓・その他商品類	77,533	14.7	82,804	14.7	5,270	106.8
	食 品 事 業 計	491,953	93.1	525,013	93.1	33,059	106.7
	流 通 事 業	29,995	5.7	32,200	5.7	2,205	107.4
	そ の 他 事 業	6,303	1.2	6,730	1.2	426	106.8
	合 計	528,252	100.0	563,944	100.0	35,692	106.8

(2) 主要子会社実績

(単位: 百万円)

	売 上 高				営 業 利 益			
	前第2四半期	当第2四半期	増 減 額	増 減 率	前第2四半期	当第2四半期	増 減 額	増 減 率
(株)不二家(連結)	48,599	51,010	2,410	5.0%	2,160	205	△1,955	△ 90.5%
(株)サンデリカ	47,332	49,842	2,510	5.3	△ 64	364	428	—
ヤマザキビスケット(株)	14,482	14,917	435	3.0	255	256	0	0.1
(株)ヴィ・ド・フランス	12,939	14,061	1,121	8.7	△ 662	112	775	—
(株)東ハト	12,378	13,605	1,226	9.9	610	869	259	42.6

(3) 2023年12月期第2四半期の単体業績 (2023年1月1日～2023年6月30日)

①単体経営成績

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	407,701	6.7	16,775	55.6	19,635	37.0	12,893	39.2
2022年12月期第2四半期	382,194	—	10,779	2.5	14,329	13.9	9,259	11.8

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2022年12月期の期首から適用しております。

このため、当該基準を適用する前の2021年12月期第2四半期累計期間の売上高に対する対前年同四半期増減率は記載しておりません。

なお、2021年12月期第2四半期累計期間と同様の基準で算出した2022年12月期第2四半期累計期間の売上高の増減率は3.1%増であります。

②単体財政状態

	総資産	純資産
	百万円	百万円
2023年12月期第2四半期	548,232	311,151
2022年12月期	549,583	301,239

(注) 単体業績数値は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(4) 単体販売実績

(単位:百万円)

期別 品種別	前第2四半期 (自2022年1月1日 至2022年6月30日)		当第2四半期 (自2023年1月1日 至2023年6月30日)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前年同期比
食パン	50,431	13.2%	51,998	12.8%	1,566	103.1%
菓子パン	172,175	45.0	187,102	45.9	14,926	108.7
和菓子	33,905	8.9	34,850	8.5	945	102.8
洋菓子	54,296	14.2	56,955	14.0	2,658	104.9
調理パン・米飯類	25,119	6.6	27,075	6.6	1,955	107.8
製菓・米菓・その他商品類	22,208	5.8	24,148	5.9	1,939	108.7
小計	358,137	93.7	382,130	93.7	23,993	106.7
デイリーヤマザキ事業	31,451	8.2	34,036	8.4	2,585	108.2
内部消去	△ 7,395	△ 1.9	△ 8,466	△ 2.1	△ 1,071	—
合計	382,194	100.0	407,701	100.0	25,507	106.7